

2022 年 4 月 22 日

専門委員会開催報告

会合名	第 3 回「遮蔽計算手法の V&V 検討」研究専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2022 年 3 月 29 日 (水) 13:30～15:00 メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと
開催場所	Web 会議 (WebEx)
参加人数	22 名 浅見幹事 (NMRI), 糸賀幹事 (JASRI), 尾方幹事 (MHI), 奥村幹事 (JAEA), 上菴 (理研), 大石 (日環研), 大西 (海技研), 奥野 (安藤ハザマ), 金丸 (東芝), 河野 (ATOX), 坂本 (ATOX), 佐藤 (QST), 助川 (QST), 田中 (IAE), 中田 (MHI-NS), 中根 (JAEA), 仁井田 (RIST), 延原 (TNS), 平山 (KEK), 山野 (ラドネット), 鎌田 (海技研) 講演者: 多田 (JAEA)
議事	1. 主査挨拶, 説明 鎌田主査から挨拶と, 「遮蔽解析手法の V&V 検討」研究専門委員会第2回会合議事録案について確認がなされた. 2. 「FRENDY 第 2 版の概要説明」 JAEA 多田氏 多田氏により, 最近公開された日本独自の核データ処理コードについて, 「FRENDY 第 2 版の概要説明」とのタイトルで講演がなされた 3. アンケート途中経過 ATOX 坂本委員 坂本委員より, 放射線遮蔽に係る許認可申請等についてのアンケート」での質問事項及び集計結果について報告がなされた 4. 提案「今後の委員会活動に関する提案」 JAEA 奥村幹事 奥村幹事により, 「今後の委員会活動に関する提案」というタイトルで, JPDR ベンチマークを題材とする V&V 事例の作成に関する提案があった. その後, V&V ガイドラインの作成を目指せば良いかなどの議論がなされた. 5. その他連絡事項など 理研会議室と Web 会議の併用で行う. 本委員会の会期がコロナ禍で延長されたことに伴う委任委嘱更新手続きについて案内がなされた. 次回会合は 5 月をめどに行う予定.
備考	

2022 年 4 月 22 日

専門委員会開催報告

会合名	第 2 回「遮蔽計算手法の V&V 検討」研究専門委員会 幹事会
会議種別	本会議 <u>幹事会</u> メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2022 年 2 月 9 日(木) 10:45～12:00 メール審議の場合は開始、終了日を記入のこと
開催場所	Web 会議(WebEx)
参加人数	5 名 鎌田主査(NMRI), 浅見幹事(NMRI), 糸賀幹事(JASRI), 尾方幹事(MHI), 奥村幹事(JAEA)
議事	1. 主査説明 鎌田主査から今回の幹事会では、奥村幹事からの「V&V で何をすべきか」についての説明を踏まえて、本会議にてどのような議論をすべきかについて幹事からの意見聴取する旨の説明があった。 2. 議論 奥村幹事からの説明を受けたのち、幹事からの意見を聴取し、本会議での議事について議論した。また、V&V 手順の策定のためのアンケート案について議論した。 3. その他連絡事項など 本会議では、奥村幹事からの提言、坂本委員が実施中のアンケート結果についての報告、JAEA 多田氏から講演頂いたのちに議論することとした。 本会議は 3 月 29 日に開催する。
備考	

2021 年 10 月 21 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 1 回「遮蔽計算手法の V&V 検討」研究専門委員会幹事会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2021 年 10 月 7 日(木)13:30～15:00
開催場所	Web 会議(WebEx)
参加人数	7 名 鎌田主査(NMRI), 浅見幹事(NMRI), 糸賀幹事(JASRI), 尾方幹事(MHI), 奥村幹事(JAEA), 中野幹事(日立 GE), 坂本(ATOX)
議事	1. 主査説明 鎌田主査から今回の幹事会の開催目的は、当研究専門委員会での 1)まとめるべき事項の再確認と 2)それらのまとめ方についての議論である旨の説明があった。 2. 議論 議論から、コード開発側とエンドユーザー双方が行うべき V&V の指針をまとめることを再確認した。さらに、本委員会で V&V の対象として扱う事例を決めるために、意見聴取としてアンケート調査を実施することとした。設問については、坂本委員が進めている“放射線遮蔽設計法に係るワークショップ”に関連して実施するアンケート調査の設問を踏まえたものにする事とした。 3. その他連絡事項など アンケート調査の設問に関しては坂本委員から作成中の文案を幹事に照会をかけ、意見聴取したのちに決定することとした。 アンケート調査を年内に実施し、これらの結果を元に、次回会合を 1 月をめどに開催する予定。
備考	

2021 年 10 月 21 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	第 2 回「遮蔽計算手法の V&V 検討」研究専門委員会
会議種別	本会議 幹事会 メール審議 その他*() *分科会、WG 等具体的に記入のこと
開催日時	2021 年 6 月 30 日(水)13:30～16:10
開催場所	Web 会議(WebEx)
参加人数	24 名 鎌田主査(海技研), 浅見幹事(NMRI), 糸賀幹事(JASRI), 尾方幹事(MHI), 奥村幹事(JAEA), 中野幹事(日立 GE), 上菱(理研), 大石(日環研), 大西(海技研), 金丸(東芝), 河野(ATOX), 坂本(ATOX), 佐藤(QST), 助川(QST), 田中(IAE), 谷口(TNT), 坪井(CTC), 中田(MHI-NS), 仁井田(RIST), 延原(TNS), 萩原(KEK), 平尾(NMRI), 平山(KEK), 吉岡(東芝)
議事	1. 主査挨拶, 説明 鎌田主査から挨拶と, 「遮蔽解析手法の V&V 検討」研究専門委員会第 1 回会合議事録案について確認がなされた. 2. 講演「V&V で考えるべきこと, 決めておくべきこと」IAE 田中委員 田中委員により, 「V&V で考えるべきこと, 決めておくべきこと」というタイトルで講演があったあと, 本研究専門委員会はどのような V&V ガイドラインの作成を目指せば良いかなどの議論がなされた. また, 参考となる複数の文献が示された. 3. その他連絡事項など 理研会議室と Web 会議の併用で行う. 講演者は簡易遮蔽計算コードに関する内容を予定. NEA ベンチマークの関係者に意見を伺う予定. 次回会合は 9 月をめどに行う予定.
備 考	